

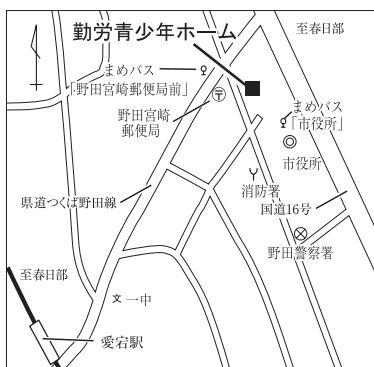
紙上公共施設見学会 「勤労青少年ホーム」

「勤労青少年ホーム」は、昭和47年7月に、働く若者の憩いの場として開館しました。ホームには、吹き抜けの娯楽談話室、図書室、各種講座やサークル活動にご利用いただける講習室、ドラムやギターなどの演奏練習ができる器楽室、音楽鑑賞室のほか、卓球やバドミントン、バスケットボールなどのスポーツができる体育室もあり、現在、27団体、約400人の方が余暇を活用して、趣味や体力づくりに励んでいます。また、隔週土曜日の午前中に

は、サタデークラブに通う小学生たちが叩く太鼓の音が体育室一杯に響き渡っています。開館時間は、8時30分から21時30分までで、月曜日、祝日、年末年始は休館です。また、ホームの利用は原則、勤労青少年が対象になりますの



館内にはシルバー人材センターの事務所も



で、希望される方は、事前にお問い合わせください。 ※電力供給状況により、開館時間が変更になる場合もありますので、ご利用の際は、事前にご確認ください

市民訪問

野田から誕生 現役最年少プロボウラー

田中 亜実さん



県立関宿高等学校に通う田中亜実さんは、今年5月、見事第44期プロボウラー資格取得テストに合格しました。 今期最年少の合格者で、6月に開催された「女子トーナメント出場優先順位決定戦」で現役最年少のプロボウラーとしてデビューを果たしました。 「始めは友達と遊んだボウリングが楽しくて、家族でもボウリング場に出掛けました。その時、父の夢がプロボウラーだったことを初めて知り、プロを目

指すようになりました。高校に通いつつ、アルバイトもしながら、週4日、1日5時間ぐらい夜間に練習をしてきました」とこの3年を振り返ります。 小中学校時代には、合唱部や吹奏楽部に所属していた亜実さんは歌うことも大好きで、空いた時間を利用して友達とカラオケに行かれるそうです。 「人を感動させるプロボウラーを目指します」と笑顔で今後の抱負を語ってくれました。 木間ヶ瀬在住・平成6年生まれ

トピックス

熱戦を繰り広げた 小学校陸上競技大会



満員の客席からは熱い声援が

前日の雨天で順延となった小学校陸上競技大会が6月9日、総合公園陸上競技場で行われ、市内20校から約800名の選手が参加。計18種目で記録を競い合った。 本格的な競技場での大会に笑顔を見せていた選手たちも、出番が近づくに連れて集中力を高め、競技では普段の実力を発揮。結果は、岩木小が2年ぶりの総合優勝に輝いた。

切り絵を通して

郷土芸能を再発見

地域に根ざす文化に親しんでいたことが、関宿南部公民館では、6月から11月まで「切り絵技法で創作する民俗芸能作品研修」を開催している。



題材の写真は自ら足を運んで撮影も

つく舞や武者土囃子、ばっばか獅子舞などの写真を題材に切り絵を学ぶ。「時間を忘れて夢中になれるし、出来上がった作品を見るのが嬉しい」と話す方もいた。成果は10月の第4週に市役所ふれあいギャラリーで披露の予定。